

令和3年度特別支援学校教員資格認定試験問題（第1次）

教職に関する専門的事項に関する科目

（問1～問20 全20問）

時間 12：40～13：40

注 意 事 項

1. 試験監督者から「**解答始め。**」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、表紙を除いて12ページあります。
3. 解答用紙（マークシート）の指定された欄に**氏名**、**受験番号**を記入し、科目名と受験番号の該当する○を丁寧に塗りつぶしてください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄の該当する○を丁寧に塗りつぶしてください。
5. この試験の解答時間は、「**解答始め。**」の合図があつてから、60分です。
6. 当該試験開始から終了までは、退室できません。ただし、発病等やむを得ない場合には挙手をし、試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題冊子の余白は、下書きに使用しても差し支えありません。
8. 試験監督者から「**解答やめ。**」の合図があつたら、直ちに解答をやめて鉛筆を置き、問題冊子を閉じてください。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問 1 「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕（平成 20 年 3 月人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）における「第 1 章 学校教育における人権教育の改善・充実の基本的考え方」の内容に照らして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 人権は、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」と定義される。
- イ 国連の「人権教育のための世界計画」行動計画では、人権教育について「知識の共有、技術の伝達、及び態度の形成を通じ、人権という合理的文化を構築するために行う」ものとされている。
- ウ 人権感覚とは、人権の価値やその重要性にかんがみ、人権が擁護され、実現されている状態を感知して、これを望ましいものと感じ、反対に、これが侵害されている状態を感知して、それを許せないとするような、価値志向的な感覚のことである。
- エ 人権教育は、人権に関する知的理解と人権感覚の涵養^{かんよう}を基盤として、意識、態度、実践的な行動力など様々な資質や能力を育成し、発展させることを目指す総合的な教育である。

問 2 小学校から高等学校までの特別活動をはじめとしたキャリア教育に関わる活動について、学びのプロセスを記述し振り返ることができるポートフォリオ的な教材（「キャリア・パスポート」）を作成し、活用することが求められている。「キャリア・パスポート」の説明に関して最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「キャリア・パスポート」の様式は、都道府県教育委員会等で定めたものを統一的に用いる。
- イ 「キャリア・パスポート」は、児童生徒自らが記録し、学年末に集中的に学習を振り返るとともに、将来への展望を図ることができるものとする。
- ウ 「キャリア・パスポート」は個人の記録なので、大人（家族や教師、地域住民等）が内容に関わらない方がよい。
- エ 「キャリア・パスポート」は、学校生活全体及び家庭、地域における学びを含む内容とする。

問 3 学校安全の考え方として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 学校安全のねらいは、児童生徒等が自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質・能力を育成するとともに、児童生徒等の安全を確保するための環境を整えることである。
- イ 学校安全の領域は、「生活安全」「交通安全」「災害安全」などがあるが、従来想定されなかった新たな危機事象の出現などにも柔軟に対応し、学校保健や生徒指導など様々な関連領域と連携して取り組むことが重要である。
- ウ 学校における安全管理・組織活動は、主に学校教育法に基づいて実施する。
- エ 学校安全の推進に関する施策の方向性と具体的な方策は、5年ごとに策定する学校安全の推進に関する計画に定められている。

問 4 次の文は、現行の「教育基本法」(平成 18 年法律第 120 号)又は平成 18 年法律第 120 号により全部の改正が行われる前の「教育基本法」(昭和 22 年法律第 25 号)の条文の一部である。現行の「教育基本法」の条文に当たらないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。なお、()内の文は見出しである。

- ア (男女共学) 男女は、互に敬重し、協力し合わなければならないものであって、教育上男女の共学は、認められなければならない。
- イ (生涯学習の理念) 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
- ウ (家庭教育) 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。
- エ (教育の機会均等) すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならないが、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。

問 5 児童虐待問題への対応を強化するため、親権者などによる体罰を禁止することなどを定めた「児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等の一部を改正する法律」（令和元年法律第 46 号）が令和 2 年 4 月 1 日から施行され、「児童虐待の防止等に関する法律」（平成 12 年法律第 82 号）及び「児童福祉法」（昭和 22 年法律第 164 号）が改正された。体罰に当たらないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 言葉で 3 回注意したものの言うことを聞かないので、頬を叩いた
- イ 大切なものにいたずらをしたので、長時間正座をさせた
- ウ 道に飛び出しそうだったので、子供の手をつかんだ
- エ 宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった

問 6 次の文は、「いじめ防止対策推進法」（平成 25 年法律第 71 号）第 19 条の一部である。
□①□ ~ □③□ に当てはまる適切な語句の組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学校の設置者及びその設置する学校は、当該学校に在籍する児童等及びその保護者が、発信された情報の高度の □①□，発信者の □②□ その他のインターネットを通じて送信される情報の特性を踏まえて、インターネットを通じて行われるいじめを防止し、及び効果的に対処することができるよう、これらの者に対し、必要な □③□ 活動を行うものとする。

- ア ① 流通性 ② 匿名性 ③ 啓発
- イ ① 重要性 ② 匿名性 ③ 監視
- ウ ① 重要性 ② 秘密性 ③ 啓発
- エ ① 流通性 ② 秘密性 ③ 監視

問 7 「学校保健安全法」(昭和 33 年法律第 56 号)の条文として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 第 15 条第 1 項 校長は、毎学年定期に、学校の職員の健康診断を行わなければならない。
- イ 第 19 条 学校の設置者は、感染症にかかっている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。
- ウ 第 20 条 校長は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に、学校の全部又は一部の休業を行うことができる。
- エ 第 29 条第 2 項 校長は、危険等発生時対処要領の職員に対する周知、訓練の実施その他の危険等発生時において職員が適切に対処するために必要な措置を講ずるものとする。

問 8 次の各文は、集団指導、個別指導について述べたものである。『生徒指導提要』(平成 22 年 3 月文部科学省)の「第 1 章 生徒指導の意義と原理 第 4 節 集団指導・個別指導の方法原理」の内容に照らし、説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで答えなさい。

- ア 集団指導と個別指導のどちらにおいても、①「成長を促す指導」、②「抑止的指導」、③「課題解決的指導」の三つの目的に分けることができる。
- イ 個別指導には、集団から離れて行う指導と、集団指導の場面においても個に配慮することの二つの概念がある。
- ウ 集団指導とは、集団全体のみならず焦点をあてた指導を意味することではなく、集団内の児童生徒一人一人についても考慮を払うことを重視するものとして意味をなす。
- エ 集団指導と個別指導は別々のものではなく、集団に支えられて個が育ち、個の成長が集団を発展させるように、相互作用によって、児童生徒は社会で自立するために必要な力を身に付けていける。

問 9 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月26日中央教育審議会）において、「第Ⅱ部 各論 6. 遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について」で述べられている内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで答えなさい。

- ア 学習履歴（スタディ・ログ）など教育データの活用は、個人情報保護の観点から、実施しないことが求められる。
- イ 全国学力・学習状況調査において、CBT（Computer Based Testing）を進めることは、国際的な同様の調査に先んじた取組となる。
- ウ ICT支援員は、教員の校務のサポートを想定しており、授業に関するサポートは想定されていない。
- エ 学習活動の質を高めるため、児童生徒の発達の段階を踏まえ、学校の授業時間内において、教師による対面指導に加え、目的に応じ遠隔授業やオンデマンドの動画教材等を取り入れた授業モデルを展開する。

問10 「新しい時代の初等中等教育の在り方について（諮問）」（平成31年4月文部科学大臣）において、その諮問理由には Society 5.0時代の到来が予想されることが述べられている。Society 5.0とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）である。Society 5.0が目指す未来社会として、先の諮問の関係資料中に示されていないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア IoTで全ての人とモノがつながり、新たな価値が生まれる社会
- イ 高度な技術発展で、生産性が格段に向上する社会
- ウ AIにより、必要な情報が必要な時に提供される社会
- エ ロボットや自動走行車などの技術で、人の可能性がひろがる社会

問11 次の文章は、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）に関する記述である。□①～□④に入る語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、□①に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための□②アジェンダ」に記載された、□②年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。□③のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む□④なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

- | | | | | |
|---|---------|--------|------|---------------|
| ア | ① 2000年 | ② 2040 | ③ 19 | ④ ユニバーサル（普遍的） |
| イ | ① 2001年 | ② 2030 | ③ 17 | ④ ユニバーサル（普遍的） |
| ウ | ① 2000年 | ② 2030 | ③ 19 | ④ グローバル（包括的） |
| エ | ① 2001年 | ② 2040 | ③ 17 | ④ グローバル（包括的） |

問12 次の文章は、『外国人児童生徒受入れの手引 改訂版』（平成31年3月文部科学省）「第3章 日本語指導担当教師の役割」における、ある日本語指導のプログラム概略の説明である。このプログラムの名称として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

文字や文型など、日本語の基礎的な知識や技能を学ぶためのプログラムです。日々の生活で浴びせられている日本語について、整理し、規則を学び、自分でも使えるようにするための学習をします。日本語の知識・技能の獲得を目的の中心としつつ、学校への適応や教科学習に参加するための基礎的な力として日本語の力を位置付けて計画しましょう。

基本的に、(A)発音の指導、(B)文字・表記の指導、(C)語彙の指導、(D)文型の指導の4つがあります。

- ア 「サバイバル日本語」プログラム
- イ 「日本語基礎」プログラム
- ウ 「技能別日本語」プログラム
- エ 「日本語と教科の統合学習」プログラム

問13 次の文章は、「小学校学習指導要領」（平成29年3月文部科学省告示第63号）の前文の一部である。□①～□③に当てはまる適切な語句の組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学習指導要領とは、こうした理念の実現に向けて必要となる教育課程の基準を□①に定めるものである。学習指導要領が果たす役割の一つは、公の性質を有する学校における□②を全国的に確保することである。また、各学校がその特色を生かして創意工夫を重ね、長年にわたり積み重ねられてきた教育実践や学術研究の蓄積を生かしながら、児童や地域の現状や課題を捉え、□③と協力して、学習指導要領を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていくことも重要である。

- | | | | |
|---|-------|--------|------------|
| ア | ① 大綱的 | ② 教育水準 | ③ 家庭や地域社会 |
| イ | ① 大綱的 | ② 学力水準 | ③ 教育委員会や大学 |
| ウ | ① 網羅的 | ② 学力水準 | ③ 家庭や地域社会 |
| エ | ① 網羅的 | ② 教育水準 | ③ 教育委員会や大学 |

問14 「小学校学習指導要領」（平成29年3月文部科学省告示第63号）「第1章 総則 第3 教育課程の実施と学習評価」の内容に照らして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。
- イ コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること。また、各種の統計資料や新聞、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。
- ウ 児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、必ず、毎回の授業の始めと終わりに取り入れるようにすること。
- エ 児童が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。

問15 次の西洋教育史に関わる人物の説明とその人物名との適切な組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- 1 フランス革命前後の時代にスイスで貧民学校を開設し、孤児院や民衆のための学校経営に努めた。人間の直観をあらゆる認識の基礎として明確に位置付けた「直観から概念へ」という教授理論で知られる。代表的著作に『隠者の夕暮』がある。
- 2 子供の「活動」や「生産作業」や「協同生活」の教育的意義を見だし、これらの教育原理を特に幼年期の教育において実践し、「幼稚園」を教育制度の基底にすえることに尽力した。幼児用の遊具「恩物」の考案者。代表的著作に『人間の教育』がある。
- 3 ドイツの教育学者。教育の目的を倫理学に、方法を心理学に求めて教育学の体系化を図った。道徳性の涵養^{かんよう}を教育の目的に置き、その目的を達成するために「管理」「教授」「訓練」という3種類の子供への働きかけを説いた。代表的著作に『一般教育学』がある。
- 4 シカゴ大学の附属実験学校の創立とその実践を紹介した『学校と社会』の著作で有名。児童中心主義の思想を背景とした生活経験カリキュラムの創始者ともいえる彼の考えは、20世紀初頭の新教育運動に大きな影響を与えた。

	1	2	3	4
ア	ヘルバルト	デューイ	フレーベル	ペスタロッチ
イ	ペスタロッチ	フレーベル	ヘルバルト	デューイ
ウ	フレーベル	ペスタロッチ	デューイ	ヘルバルト
エ	デューイ	ヘルバルト	ペスタロッチ	フレーベル

問16 次の教育史に関する各記述について、正しいものを○、誤っているものを×とするとき、その適切な組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- 1 昌平坂学問所は、江戸幕府最初の直轄学校で、主として幕臣の子弟に儒学を教授し、江戸時代の最高学府の地位を占めた。
- 2 適塾とは、幕末期に蘭方医の緒方洪庵が大坂に開いた蘭学塾で、入塾者の中には福沢諭吉がいた。
- 3 伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任した内閣において、初代文部大臣を務めたのは西園寺公望である。
- 4 明治23年に^{かんぽつ}渙発された「教育勅語」は、昭和16年の国民学校令の公布とともに失効した。

ア	1 — ○	2 — ×	3 — ○	4 — ×
イ	1 — ×	2 — ×	3 — ○	4 — ○
ウ	1 — ○	2 — ○	3 — ×	4 — ×
エ	1 — ×	2 — ○	3 — ×	4 — ○

問17 次の記憶に関する各記述とそれぞれの用語との適切な組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- 1 自転車の乗り方やピアノの弾き方など、必ずしも言語化できるとは限らない、行為や動作のスキルに関する記憶
- 2 社会全般に通用する概念や法則・事実など、一般的な知識に関する記憶
- 3 目や耳などの感覚器が受け取った情報をそのままの形で短時間保持する記憶
- 4 様々な認知活動を行う際に、必要な情報を一時的に記憶しておきながらその情報を活用するという役割を担う記憶

	1	2	3	4
ア	エピソード記憶	意味記憶	短期記憶	ワーキングメモリ
イ	手続き的記憶	非宣言的記憶	短期記憶	展望記憶
ウ	エピソード記憶	非宣言的記憶	感覚記憶	展望記憶
エ	手続き的記憶	意味記憶	感覚記憶	ワーキングメモリ

問18 動機づけに関連する記述として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア マズロー (Maslow, A. H.) が提唱した欲求階層説では、我々が持つ欲求は5層の階層構造を成しているとされるが、そのもっとも上位に位置する「自己実現の欲求」とは、他者からの承認とともに、自己からの承認 (すなわち自尊心) を求めるものである。
- イ セリグマン (Seligman, M. E. P.) は、対処不可能な課題に対して「何をしても無駄だ」という無力感が学習されると、後に容易に解決できる課題が与えられてもそれを解決しようとしなくなる現象を見だし、学習性無力感という概念を提唱した。
- ウ デシ (Deci, E. L.) によって明らかにされたアンダーマイニング効果とは、内発的動機づけによって行われている行動を報酬などにより外発的に動機づけようと試みることによって、その行動に対する内発的動機づけが低下してしまう現象のことである。
- エ 自己効力感とは、ある結果を生み出すために必要な行動をとることができるとの確信、すなわち、自分にはそれができるという自信のことであり、バンデュラ (Bandura, A.) により提唱された概念である。

問19 次のA群には人間の発達に関わる用語の説明が、B群にはその用語が示されている。A群のどれにも当てはまらないものを、B群のA～Eの中から一つ選んで記号で答えなさい。

[A 群]

- 1 ボウルビィ (Bowlby, J.) によって発達初期におけるその重要性が指摘された、特定の他者(特に母親)に対して持つ情緒的な絆のこと。
- 2 ピアジェ (Piaget, J.) は、幼児期の自己中心性(自分と自分以外の人や物が十分に分化していない)という特徴から、石や太陽などの無生物に対しても、人間と同じように意識や感情があると考えられる思考様式がみられるとした。
- 3 「過去から将来に至る時間の中で自分は一貫して自分であり、しかも社会的関係の中で他者からそのような自分を認められている」という感覚のこと。エリクソン (Erikson, E. H.) の発達理論では、それを確立することが青年期における重要な発達課題とされている。

[B 群]

- A アイデンティティ
- I アセスメント
- U アニミズム
- E アタッチメント

問20 学習指導法に関する記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 協同学習の方法としてアロンソン (Aronson, E.) らが提唱したバズ学習とは、元の小集団から成員が一人ずつ集まって別の小集団をつくり、その小集団ごとに異なる内容を学習したあと、再び元の小集団に戻り各成員が学習してきたことを相互に教え合うというものである。
- イ ブルーム (Bloom, B. S.) によって提唱された完全習得学習では、教師が、授業の種類並びに質、あるいは学習時間を、個々の学習者の特性に合うように調整することで、大半の学習者が当該教科の内容を習得することが可能であるとされ、その実現には相対的評価が重要な役割を果たすと考えられている。
- ウ オーズベル (Ausubel, D. P.) が提唱した自己調整学習における先行オーガナイザーとは、学習内容に先行して提示される情報で、学習内容よりも一般的でかつ包括的な情報のことであり、これをあらかじめ提示することによって、それが媒介となって学習内容が学習者の既存の認知構造に関連付けやすくなると考えられている。
- エ ブルーナー (Bruner, J. S.) による発見学習とは、教師が学習内容 (科学の概念や法則など) を前もって学習者に提示し教えてしまうのではなく、学習者に発見させる学習法であり、その典型的な学習過程は、学習課題の把握、仮説の設定、仮説のねりあげ、仮説の検証、発展とまとめ、の5段階を経るとされる。